

# 千葉工業大学技術士会 会報

No.7 2012



最新の大学風景（平成 24 年 3 月）





学内モニュメント 飛躍の群像



直近のキャンパス内風景写真



7号館



4号館を望む



新2号棟

## 目 次

### ご 挨拶

(平成 23 年度千葉工業大学技術士会の活動を顧みて)

	頁
1. 第 6 回総会報告 .....	1
1.1 平成 23 年度活動 .....	1
1.2 平成 23 年度予算 .....	2
1.3 平成 23 年度顧問・役員名簿 .....	3
1.4 第6回総会議事録 .....	4
2. 総会時の特別講演会について .....	6
3. 各委員会報告 .....	7
3.1 特別講義実行委員会報告 .....	7
3.2 広報委員会報告 .....	10
3.3 大学技術士連絡協議会関連報告 .....	12
4. 産官学フォーラムに参加して .....	13
5. 溝邊会長日本技術士会で表彰される .....	15
6. 会員動向 .....	16
7. 事務局だより .....	17



## ご挨拶

### 平成 23 年度千葉工業大学技術士会の活動を顧みて



千葉工業大学技術士会 会長 溝邊 哲男

昨年は未曾有の東日本大震災に続き福島原子力事故や、かつて我々が経験したことが無い大変不幸な災難に見舞われ、会員の皆さまのご親族や、知人も被災された方もおられた事と思います。

心よりご冥福をお祈りいたします。

さて、千葉工業大学技術士会も今年で満六年目を迎えますが、100人足らずで発足した技術士会も今では120人の会員を有するに至りました。

発足当時は財政難で会員の手弁当で会を運営しておりましたが、本岡学長はじめ千葉工業大学当局や同窓会の温かいご支援、ご指導でようやく色々な活動が出来るようになりました。

総会後の講演会も昨年度は5周年を記念して外部から講師を迎え、特別講演会を開催しました。

今年度は千葉工業大学技術士会の久多羅木副会長に最近の高速鉄道の動向について、多くの一般の方々の参加のもとオープン講演会を開催致しました。また、今後もこのような講演会は続けていきたいと思っております。

#### 今年度の主たる活動報告

##### ① 技術士<国家資格>への挑戦ガイドブック改定版の編集

昨年度は2500部作り在学生、卒業生の欲しい人に配布しております。今年も引き続き準備をしていますが今年度の改訂版は広報委員会の強化により一層充実した冊子になりました。この冊子は対外的にも多くの方々から大変好評を得ています。

##### ② JABEE 学科の在学生への特別講義と大学の JABEE 認定取得支援

今年度も引き続き本学からの要請を受け、機械サイエンス学科及び電気電子情報工学科の学生に対して受講者数延べ約1200名に技術士制度や技術者倫理、会員の体験談を主とした特別講義を開催しました。更に今年より、JABEE 認定学科が電気電子情報工学科に加え生命環境科学科と情報工学科の3学科に増え本学からの要望に合わせ、JABEE 認定に必要なプログラムに関する支援を行いました。

##### ③ 大学・同窓会および産官学融合センターとの連携強化

本学の研究成果の広報に関する協力を同窓会および産官学融合センターと連携し、積極的に推進しました。

##### ④ 日本技術士会や大学技術士会連絡協議会との連携

日本技術士会や他大学技術士会と連携し、相互の情報交換などを実施しました。

大学技術士会連絡協議会を通じ、技術士補の合格者に対し当会入会への広報活動を実施しました。

##### ⑤ 技術士会の会則一部改定

JABEE コースの在学生や卒業生が増えていく中、この対応策として在学生に対する会則の一部を改定し、将来に向けた会員の増強を行います。

今後とも引き続き千葉工業大学技術士会に温かいご支援とご指導をお願い申し上げます。



# 1. 第6回総会報告

## 1.1 平成23年度活動計画 (活動期間：平成23年4月1日～平成24年3月31日)

前年度に引き続き、本会設立の趣旨に沿って、会員相互の交流・研鑽、本学の教育と研究への協力・支援、ならびに卒業生・院生・学生への技術士・技術士補資格取得のための支援を継続する。特に、本学の推進する産官学連携、JABEE認定プログラムなどについては前年度と同様に積極的な協力を行う。大学側と同窓会からの支援を得て、今年度の主な活動計画は、以下の事業を主とする。

### 1.1.1. 会員通信

本学と同窓会からの資金支援を得て、より充実した会報の発行を年1回行う。

### 1.1.2 技術士会ホームページ

大学と同窓会のご協力を得て、ホームページを開設することになった。

記載内容などについて役員会において検討し、新しい情報を定期的に更新する事を期す。

### 1.1.3 講演会・意見交換会

千葉工大津田沼校舎新2号棟を竣工に合わせ、新校舎と本学の最先端研究活動を見学し、本学の状況を知る。また、総会時等には会員のみならず、大学在校生や周辺地域の方々をも含めたオープンな講演会を開催する

### 1.1.4 JABEE 学科および在学生への特別講義と JABEE 認定プログラム

会報で報告したが、本学からの要望により昨年度は機械サイエンス学科及び電気電子情報工学科の学生に対して技術士制度や技術者倫理を主とした特別講義を開催した。今年度も同様の特別講義を実施する予定である。

本学からの要望に合わせ、JABEE 認定に必要なプログラムに関する支援を図る。

### 1.1.5 技術士制度の啓蒙

大学からの要望もあり本会の受験支援委員会による卒業生・院生・学生に対する技術士及び技術士補資格取得のための支援を継続する。NEWS CIT および校友タイムスへの受験情報のタイムリーな記事掲載、「技術士への挑戦ガイドブック」の発行も行う。

### 1.1.6 大学・同窓会事務局および産官学融合センターとの連携強化

本学の研究成果の広報に関する協力を同窓会および産官学融合センターと連携し、積極的に推進する。更に産官学融合センターを通じて、他企業との情報交換やオープンフォーラム2011の支援を検討する。

### 1.1.7 日本技術士会や大学技術士会連絡協議会との連携

日本技術士会や他大学技術士会と連携し、相互の情報交換などを通じて本会の更なる発展を期す。また、日本技術士会創立60周年記念誌に千葉工大技術士会の広告を掲載する。

### 1.1.8 会員パーソナルデータの整備と活用



本会設立時よりデータ収集に努めている。本年度も会員諸氏のご協力を得て充実したデータの整備と活用を図る。

### 1.1.9 正会員・賛助会員の増員

新たに技術士・技術士補の資格を取得した本学卒業生・在学生も多数いると想定される。

これら新資格取得者及び在学生に対する技術士制度に関する講習会を通じ、JABEE コースの履修終了者を含めた既取得者や関連企業の本会への入会を図る。

## 1.2 平成23年度予算

平成 23 年度予算書（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）を下記に示します。

科 目		予算金額(円)	備 考
収 入 の 部	会費収入	354,000	118×3,000 円=354,000 円
	賛助会費	30,000	
	同窓会支援金	1,000,000	今年度の同窓会総会で決定
	その他	0	
	前期繰越金	1,332,767	
	当期収入合計 (A)	2,716,767	
支 出 の 部	活動通信費	45,000	会員への連絡費用
	広報費	750,000	会報印刷費、日本技術士会や他大学との交流費
	講演会・懇親会費	100,000	講演会や総会懇親会費
	管理費	250,000	事務用品費、振り込み手数料、ホームページ更新費
	活動交通補助費	480,000	役員、会員活動交通費
	会議費	12,000	お茶代
	予備費	10,000	慶弔費等
	当期支出合計 (B)	1,647,000	
当期収支合計 (A)-(B)		1,069,767	
次期繰越金		1,069,767	



### 1.3 平成 23 年度顧問・役員名簿

最高顧問 本岡誠一(千葉工業大学 学長)  
 顧問 芹川兵衛  
 顧問 山口佳和  
 顧問 高橋芳弘  
 顧問 金子和弘

役 職	役 員	氏 名	役 務	卒業学科・年
会 長	理事	溝邊哲男	会代表及び会務統轄	電気 S36 年
副会長	理事	久多羅木吉治	会長補佐及び受験支援委員長	土木 S46 年
副会長	理事	山下幹夫	会長補佐及び広報委員長	土木 S44 年
	理事	黒澤伸好	受験支援副委員長	金属(修)S47 年
	理事	町田文男	事務局長及び大学技術士連絡会担当	土木 S50 年
	理事	佐々木武彦	広報副委員長	機械 S36 年
	理事	堀田 光	特別講義実行委員長	土木 S53 年
	理事	松野 勝	広報副委員長	土木 S63 年
	理事	影山輝彰	副事務局長	土木 H 7 年
	理事	児島雅範	副事務局長	建築 S54 年
監 事		宮前保美		土木 S52 年
		近藤昭吉	広報委員	土木 S50 年
		桶川幸二	受験支援委員	機械 S51 年
		小久保優	受験支援委員 (JABEE 担当)	土木 S52 年



## 1.4 総会議事録

【開催日時】平成23年7月9日（土） 13:00～13:45

【開催場所】千葉工業大学 新1号館 2階 会議室 1.2

【出席者】（顧問・役員・委員）

顧問：高橋芳弘 顧問：山口佳和

会長：溝邊哲男 副会長：久多羅木吉治 理事：町田文男 理事：山下幹夫

理事：黒澤伸好 理事：児島雅範 理事：松野 勝 理事：影山輝彰

理事：堀田 光

監事：宮前保美

会員総数 123名 出席 24名 委任状提出 40名 合計 64名

【議事内容】

### 1.4.1 議長並びに議事署名の選出及び総会成立の確認

久多羅木理事 ・会則第13条（職務）に則り、総会の議長を溝邊会長とする。

町田理事 ・本日の出席者は24名、議決権を議長に委任した者が40名である。

また、本会員総数が123名であり、過半数により本会は有効に成立する。

・議事署名人は立候補が無ければ、議事署名人を相馬裕さん、川瀬日吉さんとする。

### 1.4.2 議 事

#### 1.4.2.1 第1号議案：平成22年度事業（活動）報告

溝邊議長 ・平成22年度事業に係る報告として、第1号議案の「平成22年度事業（活動）」を審議する。

町田理事 ・第1号議案に従い「平成22年度事業（活動）」を報告した。

<議案承認>

#### 1.4.2.2 第2号議案：平成22年度収支決算・監査報告

溝邊議長 ・平成22年度事業に係る報告として、第2号議案の「平成22年度収支決算・監査報告」を審議する。

児島理事 ・第2号議案の「平成22年度収支決算・監査報告」を報告した。

宮前監査 ・第2号議案の「平成22年度収支決算・監査報告」の内容について、適正かつ正確であることを証明する。

<議案承認>

#### 1.4.2.3 第3号議案：平成23年度事業（活動）計画

溝邊議長 ・平成23年度事業に係る報告として、第3号議案の「平成23年度事業（活動）計画」を審議する。

町田理事 ・平成23年度事業に係る報告として、第3号議案の「平成23年度事業（活動）計画」を説明した。

<議案承認>

#### 1.4.2.4 第4号議案：平成23年度収支計画の件

溝邊議長 ・平成23年度事業に係る報告として、第4号議案の「平成23年度収支計画」を審議する。

児島理事 ・平成23年度事業に係る報告として、第4号議案の「平成23年度収支計画」を説明した。

<議案承認>

#### 1.4.2.5 第5号議案：会則一部改正の件

- 溝邊議長 ・ 本事業活動に係る約款として、第5号議案の「会則一部改正」を審議する。
- 久多羅木理事 ・ 本会員の増員ならびに、本学への支援として、第5条（会員）の構成に学生会員を追加する。なお、学生会員は、大学の学生および院生とする。

【質疑 37 電気秋山会員】 本会の会員数については、伸びが見られない。会費を徴収しているならば、会員数をもっと伸ばす努力すべきである。

【溝邊議長】 本会の会員数については、誠意会員数を伸ばす努力を日々行っている。役員等の活動は微力たるものであるため、会員各位のご協力に期待したい。

＜議案承認＞


#### 1.4.2.6 第1号、第2号報告


- 溝邊議長 ・ 本会の役員・顧問・委員体制として、「平成 22・23 年度 役員・顧問・委員」を説明した。
- 町田理事 ・ 大学技術士連絡協議会として、日本技術士創立 60 周年誌に広告を掲載することを報告した。

#### 1.4.3 閉会

- 久多羅木理事 ・ 第六回総会の議案の審議をすべて承認し、総会を終了する。

議事録署名人

相馬 裕 

河瀬 日吉 

以上



## 2. 総会時 特別講演会について

### 2.1 第6回千葉工業大学技術士会総会における講演会の要旨

千葉工業大学において昨年（2011年）7月に開催された千葉工業大学技術士会総会后に、初めての試みとして本会会員による講演会が行なわれました。これは本会会員、ならびに大学周辺にお住まいの方々に対する地域サービスの一環として、今回行なわれたものです。

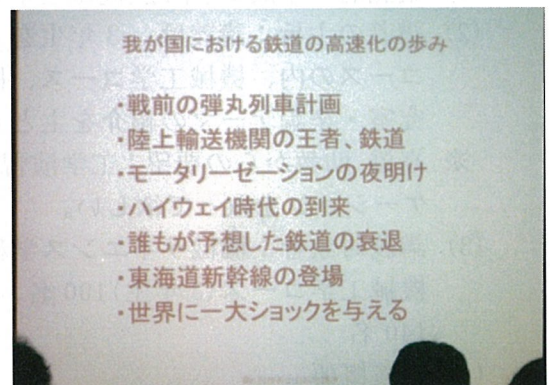
講演テーマは「鉄道的高速化と世界の動き～新幹線からリニアまで～」と題して、本会の久多羅木副会長により行なわれた。

内容は、わが国における鉄道高速化の歩みから始まり、弾丸列車計画として既に戦前から新幹線のルーツはあったそうです。しかし、東海道新幹線の建設中は、名神高速道路の一部が開通し、まさにハイウェイ時代の到来となっていたことから、新幹線は無用の長物といわれていたそうです。

ところが、いざ東京オリンピックの年になり東海道新幹線が開業してみるとそれまでの心配は一変し、それどころか世界の鉄道界に一大ショックを与えたそうです。

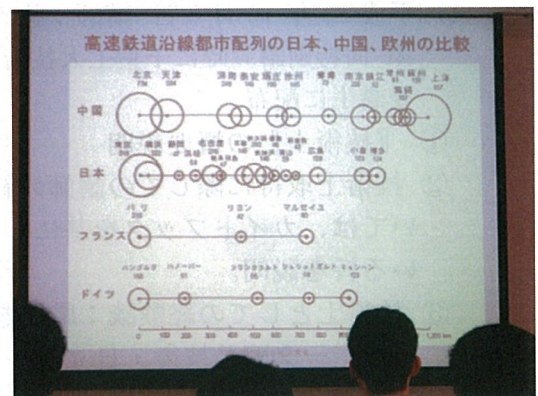
いまや世界語となった「シンカンセン」は、世界各地で高速鉄道として今も新規開業しているのはご存知のとおりです。

そして話題は、時節柄現在計画進行中のリニア中央新幹線にもおよび、有意義な講演会となりました。



新幹線と仏・TGVの輸送比較

比較事項	東海道新幹線	上野～盛岡 新幹線	パリ～リヨン TGV
路線延長	東京～新大阪 513km 新大阪～博多 854km	上野～盛岡 493km 大宮～新潟 270km	パリ～リヨン 393km パリ～ブレスト 175km パリ～トゥーロン 1018km パリ～リール 258km
平均駅間距離	33.6km	46.7km	27.0km
一日当りの列車本数	402本	217本	294本
一日当りの輸送人数	35,232名	21,320名	36,920名
運休距離	3,280mm	3,300mm	2,814mm
年度数	平均 1,329名	1,230名 または 885名	平均 368名 または 772名



特別講演会 会場風景写真

## 3. 各委員会報告

### 3.1 特別講義実行委員会報告

特別講義実行委員長 堀田 光

今年度（平成 23 年度）も千葉工業大学から、技術士会に対して特別講義の要請がありました。対象学科は、機械サイエンス学科と電気電子情報工学科の 2 学科からです。以下に特別講義内容を示します。

#### 3.1.1 機械サイエンス学科

機械サイエンス学科の高橋 助教から、昨年度と同様に機械工学演習として 3 日間の特別講義の要請があり、日程については現在調整中ですが、千葉工業大学技術士会として対応いたします。

昨年度の特別講義に関して高橋 助教のコメント：正直に申し上げて、昨年の講義は大成功だと思っております。学生の意識がかなり上がりました。取り組む姿勢もよくなったように思います。内容的には、やはり経験談を取り入れた方がよいように思います。学生も興味をもって話を聞いており、レポートでもその傾向が見られました。そして、社会で必要な人材・知識・学問、また卒業後 10 年 20 年 30 年後にどのような人間になっていきたいかを、学生自ら考えさせることができればよいなと思っております。

同学科の特別講義内容を以下に示します。

- (1) 講義名：平成 23 年度 機械工学演習
- (2) 講義の主旨：講義は、3 年生を対象とした機械工学演習。機械サイエンス学科の 4 専攻コースの内、機械工学コース、機械設計・開発コースの学生を対象とした卒業論文の研究室・卒論テーマの紹介を主として行われるものです。  
※ 高橋 助教からの要望：工学演習なので、一方的な講義ではなく、なるべく学生とコミュニケーションを取って欲しい。
- (3) 講義対象者：機械サイエンス学科（4 つの専攻コースの内、2 コースの学生を対象）  
機械工学コース（3 年生）100 名、機械設計・開発コース（3 年生 JABEE 対象コース）40 名の  
140 名
- (4) 講義概要
  - 1) 平成 23 年 10 月 6 日 講師：佐々木 武彦 氏（所属：元日立製作所・日立ビルサービス）  
※ 同特別講義時に千葉工大技術士会編『技術士《国家資格》への挑戦！ガイドブック』を受講生に配布
  - ① 『技術士』の概要説明
  - ② 技術士取得に際しての講師の経験談：「技術士第 1 次」、「技術士」の試験とその対策については、ガイドブックを基にして説明し、千葉工大技術士会にて受験サポートを実施している旨を説明。
  - ③ 技術士としての経験談：職歴を基にしての経験談（日立製作所勤務時代のモノレール・エレベータ開発技術・日立ビルシステム時代のエレベータメンテナンスなど）



- 2) 平成 23 年 10 月 13 日 講師：今井 誠 氏 （ 所属：松永特許事務所 ）
- ① 『技術士』を何故目指すのか（動機付け）
  - ② 技術士取得に際しての講師の経験談、技術士としての経験談：職歴を基にしたの経験談
- 3) 平成 23 年 10 月 20 日 講師：堀田 光 氏 （ 所属：株式会社 CPC ）
- ① 建設系の『技術士』の役割
  - ② 技術士としての経験談：防災、地震、洪水、地球温暖化等をキーワードとした最先端技術の紹介

### 3.1.2 電気電子情報工学科

電気電子情報工学科の脇田 教授ならびに森田 教授から、昨年度と同様に前期・後期それぞれ 3 日間の特別講義の要請があり、千葉工業大学技術士会として対応いたします。また、別途、脇本 准教授からの要請を待っております。現在までに確認されている同学科の特別講義内容を以下に示します。

#### 【 電気電子情報工学科 前期 】

- (1) 講義名：平成 23 年度電気電子情報工学入門
- (2) 講義の主旨：同講義は 1 年生を対象とした科目の電気電子情報工学入門である。  
そこで、技術士会としての講義要請は、技術者倫理についてお願いしたいとの申し入れです。
- (3) 講義対象者：電気電子情報工学科の 1 年生の学生が対象

#### (4) 講義概要：

平成 23 年 7 月 5 日（火）から 3 週連続実施

講師：影山 輝彰氏（所属：（財）日本建設情報総合センター）

堀田 光 氏（所属：前掲）

佐々木武彦氏（所属：前掲）

講義題目：「電気電子情報工学入門（技術者倫理）」

担当先生：電気電子情報工学科 脇田 教授

#### 【 電気電子情報工学科 後期（その 1） 】

- (1) 講義名：「技術者倫理」
- (2) 講義の主旨：同講義は 3 年生を対象とされています。  
そこで、技術士会としての講義要請は、技術者倫理についてお願いしたいとの申し入れです。  
※ 森田教授からの要望：千葉工大の先輩技術士の方々が、このように活躍されている（あるいは過去に活躍された）ことを学生にアピールして頂き、受講生も後に続くように激励して頂きたい。
- (3) 講義対象者：電気電子情報工学科総合システムコース（JABEE コース）3 年生人数：50 名
- (4) 講義概要：

第 1 回目（平成 23 年 12 月 13 日）の講義の初めに溝邊会長に技術士会の紹介と御挨拶をして頂きました。

1) 平成 23 年 12 月 13 日（火）

講師：小久保 優氏 （ 所属：小久保都市計画事務所所長 ）

講義題目：「（仮称）JABEE の審査基準と APEC、EMF について」

講師コメント：私自身が経験した JABEE 審査の意義と内容、評価委員会等の話題。日本人技術者が個人で海外事業を受注し海外技術者とどのように対応して行くのかといった技術者

倫理の視点やプレゼンの必要性、海外のPE経験（廃棄物処理や省エネ事業など、公益性確保と企業の利益を考えてのプレゼン等）を話して、少しでも社会に出たら役立ててもらいたいと思います。

2) 平成 23 年 12 月 20 日（火）

講師：奥山 晴及氏（所属：奥山技術士事務所）

講義題目：「グローバル時代、国際的な場にて活躍する若き技術者に」

講師コメント：私自身が海外（米国、東南アジア）にて経験したことをベースに、工場建設から試運転までのエンジニアリングの一端について、学生に伝えたいと思います。

3) 平成 24 年 1 月 10 日（火）

講師：久多羅木 吉治氏（所属：東亜建設工業 株式会社）

講義題目：「（仮称）国際規格と相互認証の動向」

講師コメント：基本的に昨年度と同様な内容で考えています。小久保氏とAPECエンジニア、EMF国際エンジニア関係の部分は分担させていただき、制度と仕組みを重点的に行ないたいと思います。

**【 電気電子情報工学科 後期（その2） 】**

(1) 講義名：「技術士制度の概要（技術士受験方法と過去・予想問題）」

(2) 講義の主旨・講義対象者：3, 4 年生の総合システム工学コースの学生（詳細は、現在確認中）。

(3) 講義概要：講師未定。講義は1回（講演＋質疑で45分程度，演習課題で45分程度の計90分）

担当先生：電気電子情報工学科 脇本 准教授（昨年度ご担当の関 准教授のコメント：今年度は、現4年生担任の脇本 准教授に主担当として検討頂くことになりました。現在、昨年度実施した内容をもとに、学科内で実施スケジュールや内容などを検討中です。今後とも宜しくお願いいたします）

## 3.2 広報委員会報告

広報委員会委員長 山下幹夫

広報委員会の主な活動は、千葉工業大学技術士会の存在を本学在校生や卒業生に、より多く知っていただき、賛同され、当技術士会に入会して活動していただけるよう、啓蒙し、その普及に努める活動を行うことにあります。従いまして、年間一回ではありますが、会報の発行を始め、千葉工業大学ホームページ内にリンクします当技術士会ホームページのメンテナンスや種々の広報に関する活動を展開致しております。

以下に当委員会の22年度の活動結果（特に総会后）と23年度の広報活動の内容を示します。

### 3.2.1 平成22年度の活動結果報告

平成22年7月の第5回千葉工業大学技術士会総会后より広報委員会の開催を踏まえまして1年間の広報活動について活動実績を報告致します。

#### (1) 会報の発行

当技術士会の機関誌でもある会報（創立5周年記念号）第6号を平成22年12月に発刊致しました。特に、5周年という節目の記念号であるため、平成22年7月総会后に今話題騒然の中にありますエネルギー問題について（元）東京電力副社長でもあらられました竹内哲夫氏の5周年特別記念講演で「エネルギーと環境を考える」と銘打った講演内容の抜粋を掲載致しました。

#### (2) 技術士会ホームページのメンテナンス

ホームページには勿論の内容に千葉工業大学技術士会の設立目的、組織、活動内容等を紹介を含め、技術士会の活動内容の更新、会員各員の情報交換の場として2回のアップグレードに取り組みました。

ホームページアドレス：<http://cit-gijyutsushi.jp>

#### (3) 「技術士への挑戦！ガイドブック」の発刊

本年度も大学・学生センター教育支援課の依頼を受け、当技術士会が監修、編集したガイドブックを発行致しました。

その内容は昨年同様で、技術士とはどういう資格か？技術士試験制度と受験資格の条件、卒業生合格者の受験体験談などを掲載したものであります。また、配布冊子には、例年通り、23年度の試験日程などの挑戦への必要情報と、特に千葉工業大学の学生にむけた、（元）日本技術士会会長で現在、日本技術士会顧問である佐藤清様からの「将来への夢を持とう」と題したエッセーを頂きましたのでこの2点を別紙にて挟み込み配布致しました。

#### (4) 広報活動として「校友タイムス」「ニュースCIT」への投稿

定期的な活動報告を同窓会誌「校友タイムス」と在学生を対象とした「ニュースCIT」に随時掲載し、技術士会の活動内容を広報いたしました。

- 交友タイムス：2010年9月 135号 技術士会便り  
技術士会創立5周年記念事業を終えて 千葉工業大学技術士会 会長 溝辺哲男
- 交友タイムス：2011年1月 136号 技術士会便り  
「受験支援委員会活動」平成22年度特別講義の報告 受験支援委員会副委員長 堀田 光
- 校友タイムス：2011年5月 137号 技術士会便り  
「技術者としての若き日の体験」



(社)日本技術士会顧問(元日本技術士会会長)佐藤清氏の寄稿文掲載

- ニュースCIT:2010年9月15日号 7面に

「総会と特別講演会開く」本学技術士会が創立5周年 と題した記事

#### (5) その他

平成23年8月には日本技術士会創立60周年記念大会が開催される。この協賛広告を作成し、平成23年6月に投稿した

### 3.2.2 平成23年度の活動報告について

平成23年度においても前年度同様下記の事項について実施致しました。

#### (1) 会報の発行

技術士会の会報第7号は平成24年3月に発行致しました。

#### (2) ホームページの更新とアップグレード

総会の結果の議事録や役員、会員状況などを更新し、また会員等の使いやすいホームページを目指してアップグレードを行いました。

#### (3) 「技術士への挑戦!ガイドブック」の発刊

23年度に発行する「技術士に挑戦ガイドブック」は内容の見直しをはかる必要等も感じられるので、その内容変更も踏まえた再編集を行い刊行致しました。

特に、今回は学長にもはじめのお言葉を頂き、掲載致しました。

#### (4) 広報活動として「校友タイムス」「ニュースCIT」への継続投稿

卒業生や在校生に当技術士会への参加を啓蒙する意味から、技術士会の活動報告の媒体として、校友タイムスやニュースCITへの投稿を行い掲載を実現する活動を行いました。

#### (5) その他

本年度は本学に於いて「千葉エリア 産学官連携オープンフォーラム2011」が開催されたので、当技術士会もこの開催に広報活動を通して貢献いたしました。

### 3.2.3 広報委員会より

現在、広報委員は会員の方々のご協力をもって、活動しておりますが、多くの広報活動事項がありますので、まだ会員の皆様で広報活動に参加してみようと思われている方がおられましたら、是非事務局に御連絡を下さい。

また、会員各位の企画、寄稿文等も随時募集いたしておりますので、この点も御連絡をお待ち致します。

平成23年度の会報発行が3月になった事、会員各位に大変ご迷惑をおかけ致しました。ここに改めて広報委員長としてお詫びを申し上げます。

### 3.3 大学技術士会連絡協議会関連報告

理事事務局長 町田文男

現在、大学連絡協議会の参加大学は18校です。  
この協議会の主な活動は以下のような項目です。

- 定期総会の開催及び講演会の実施（一回/年）
- 各大学技術士会のイベント及び講演会の開示、情報誌の開示
- 日本技術士会へのイベント及び講演協力
- JABEEへの大学間相互協力

今年は日本技術士会創立60周年にあたりますので、参加9大学で8月記念誌に広告を掲載します。また、単独でも下記の広告を記念号に掲載しました。



## 祝 創立60周年

### 千葉工業大学技術士会

会長 溝邊 哲男

千葉工業大学技術士会は、会員相互の懇親交流、研鑽、並びに技術士の識見に基づき、時代の要請に沿った社会的な活動を行う傍ら、千葉工業大学の発展に寄与することを目的に、各学部の教育と研究への協力および支援を行うなど、幅広い活動を展開しております。

大学卒業生の皆様のご参加をお待ち致します。

ホームページ アドレス  
<http://cit-gijyutsushi.jp/>

〒275-0016 習志野市津田沼2丁目17番1号  
千葉工業大学産官学融合課内  
TEL 047-478-0325 E mail : citpe@it.chiba.ac.jp

#### 大学技術士会連絡協議会参加校

- |         |          |         |          |
|---------|----------|---------|----------|
| ●東京工業大学 | ●日本大学    | ●早稲田大学  | ●東京都市大学  |
| ●東京理科大学 | ●中央大学    | ●千葉工業大学 | ●工学院大学   |
| ●東北大学   | ●大阪工業大学  | ●摂南大学   | ●名城大学    |
| ●芝浦工業大学 | ●慶応義塾大学  | ●室蘭工業大学 | ●北海道学園大学 |
| ●九州工業大学 | ●名古屋工業大学 |         |          |

## 4. 産官学フォーラムに参加

### 4.1 千葉工業大学開催 産官学フォーラムに出席して

(平成 23 年 9 月 16 日 : 金曜日)

技術士会理事 黒澤伸好

母校の発表会は今度で 2 回目の出席である。学会出席とは別な意味で興味深い発表であった。拝聴したのは 4 件であったが、個人的に特に興味深い地球温暖化について発表内容と結びつけ、別の角度から見てみたい。下記 1～4 に発表の一部を紹介する。

#### (1) 小口径非開削掘進工法 (根本企画工業株)

小口径非開削掘進工法の改良技術の紹介で、以前は深すぎたり、掘削トンネル上部に障害物があると位置確認測定器の電波が届かず使用できなかったが、掘削工具先端に三次元で位置を確認する測定器 (ジャイロ測位) を設置し、保存データを解析しトンネルの状況を把握することで、掘削を可能にしたシステム。

#### (2) 惑星探査研究センター (千秋博紀先生)

地球やその他の太陽系惑星の生い立ちを望遠鏡や小型衛星、地球上の隕石などで調査し、地球のような星が存在する可能性を調査する目的で人工衛星を打ち上げる技術的課題、などを研究。

#### (3) 環境配慮型高機能材料の開発 (本保元次郎先生)

##### (3-1) 金に代わるボンディングワイヤーの開発

銅の単結晶を OCC で作成し、 $100\mu\text{m}$  以下にすることで、抵抗が小さく、安価なものを目指す

##### (3-2) Nb を使わない磁石の開発

Sm を使い Sm-Fe の金属管化合物が強磁性を得る (明透伝導体 (ITO)) に使われている In は枯渇の危機にある。In に代わる ITO の開発が目的。

#### (4) 水と油を安定混合するナノテクノロジー (矢沢祐樹先生)

ストークスの理論の応用 (2004 年頃、産総研で大々的に研究されたテーマで、淡水魚と海の魚が同居した名古屋万博の水槽が有名です) で混ざりにくいものを均一に混ぜる工夫。

例えば重油中にナノ化 (100nm) した水のある程度の量を入れ、水の蒸発に伴う膨張を力に変え、燃費向上を図ったり、化粧品にナノ化した有効成分を入れ皮膚や消火器官からの吸収を促進させる。

発表内容は実用的価値が高く現実味を帯びた内容で、上記の内、今までの千葉工業大学では考え難い「惑星探査研究センター」は、これからの「地球」を考える上で興味深かった。

昨年 3 月 11 日の東日本大震災およびそれに伴う福島第一原子力発電所の事故は世界を震撼させた事件と言えよう。近年ではキューバ危機以来ともいえる。

今までの地球或は又地球生物の滅亡の危機は①多くの海生生物が絶滅 (3 億 7 千万年前 : 原因不明) ②全ての生物種の 90% から 95% が絶滅 (2 億 5 千万年前 : 大規模な火山活動) ③爬虫類や単弓類も大型動物の滅亡 (2 億年前 ; 火山活動) ④全ての生物種の 70% が絶滅 (6500 万年前 : 隕石の衝突) などであるが、これらの滅亡を招いた原因は地球上の生物ではなく、地球そのもの或は地球外要因である。

今、地球生命の危機を招いている主原因は人間の営みである。特に原子力利用と CO<sub>2</sub> による地



球温暖化である。何も対策を取らなければ後100年で5～6℃平均気温が上がり、地球の温度維持能力の限界を超え制御不能になるともいわれている。原子力はCO2削減に有効であると思われるが、それ以外のCO2削減技術が切望されている。しかし間に合わないかもしれない。遠い将来、みじめな地球の状況を大気に覆われた火星から見ている人間は何人くらいいるのであろうか。そんなことを「惑星探査研究センター」の発表から考えさせられた。

#### 4.2 千葉エリア産官学連携オープンフォーラムでの千葉工大技術士会のポスター

当技術士会は千葉エリア産官学連携オープンフォーラムに出展し、下記ポスターを掲示し、「技術士挑戦ガイドブック」など技術士会の出版物を展示し、活動をアピールしました。

**千葉工業大学技術士会**  
会長 溝邊 哲男

技術士《国家資格》への挑戦!  
ガイドブック

本技術士会の刊行

特別講演会風景

千葉エリア  
産官学連携オープンフォーラム

**技術の絆を!**

千葉工業大学技術士会は「開かれた団体」として会員相互の交流・研鑽はもとより在學生へ特別講義の実践やJABEE認定プログラム支援活動をはじめ技術士制度の啓蒙と技術士資格受験支援、指導、大学産官学融合センターと協力した一般参加型「特別講演会」の実施など幅広い活動を展開しております。

技術士会ホームページアドレス  
<http://cti-gijyutsusi.jp>

連絡先 習志野市津田沼2-17-1 千葉工業大学産官学融合課内  
Tel 047-478-0325 Fax 047-478-0434



## 5. 溝邊会長日本技術士会で表彰される

### “ 溝邊会長が日本技術士会貢献賞受賞と日本技術士会参与に就任 ”

当技術士会の溝邊会長（昭和 36 年電気工学科卒）は平成 23 年 8 月 26 日に公益社団法人日本技術士会創立 60 周年記念式典で、特別表彰の貢献賞を受賞致しました。

溝邊会長は長い間、日本技術士会の副会長を始め、多くの要職において永年に亘り技術士制度の普及及び技術士会の発展に貢献され、その功績に対して贈られた賞です。この 60 周年記念式典の様子は日本テレビ等の 2 報道機関で、ニュースとして報道されました。

また、貢献賞の受賞に伴い 9 月 1 5 日の日本技術士会の理事会において参与に推挙され、就任されました。



貢献賞受賞風景



当日の溝邊会長

日本技術士会創立 60 周年に際し平成 23 年 8 月 25 日～27 日まで記念大会が開催されました。この 60 周年記念式典が行われた平成 23 年 8 月 26 日の式典には秋篠宮殿下のご臨席を賜り、文部科学省、国土交通省等の大臣をはじめ各界から多くのご来賓をお迎えして経団連会館国際会議場にて盛大に開催されました。

今回の基本テーマ「地球再生へのメッセージ」《世界・アジア・日本における技術士の役割》は、これからの技術士会の方向性を示唆したもので、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に対して、防災会議支援会議の発足や支援活動報告も同時に行われました。

今後の被災地の復旧・復興における技術的課題は多岐にわたり、原子力、エネルギー、建設、農業、水産、上下水道、そして衛生分野など、まさに 20 の専門分野を有する技術者集団の果たす役割は重要であると思います。

## 6. 会員動向

### 6.1 会員内容

都道府県別分類						出身学科別分類			
千葉	25	栃木	1	兵庫	1	金属	4	工業デザイン	1
東京	40	埼玉	11	山口	1	工業化学	7	土木	70
神奈川	16	茨城	1	佐賀	2	電気	15	建築	4
北海道	8	静岡	3			電子	3		
秋田	1	山梨	1			機械	13		
宮城	2	長野	1			精密機械	2		
福島	4	大阪	2			工業経営	1		

### 6.2 技術士部門別分類

部門別分類			
機 械	13	上下水道	3
航空・宇宙	1	衛生工学	1
電気電子	10	経営工学	5
化 学	4	環 境	2
金 属	4	情報工学	1
建 設	77	総合技術監理	11

### 6.3 新規入会者

氏 名	卒業学科	卒業年次	勤 務 先
小笠原 睦	電気工学科	S56年	日本工営株式会社 制御システム部
豊田 淳	土木工学科	S59年	三井共同建設コンサルタント(株)



## 7. 事務局だより

### 事務局からのお知らせ

#### 千葉工業大学技術士会 会員募集

会員の勧誘に個人情報保護の障壁もあり、募集は困難を極めております。当会の広報活動の一環として「NEWS CIT」や同窓会誌である「校友タイムス」を通じて、技術士会の活動を広報しておりますが、新規入会者は少なく、当会の充実化が遅れております。そこで、会員各位の幅広い人脈ネットワークに大いに期待し、是非、お知り合いの方で技術士或いは技術士補の方がおりましたら、加入のお勧めを頂く一方、事務局にも御連絡を頂きますようお願い申し上げます、皆様方のご協力を期待いたします。

連絡先 e-mail : [citpe@it-chiba.ac.jp](mailto:citpe@it-chiba.ac.jp)

#### 会費納入のお願い

私たち技術士会の会員は現在 120 名余りと小所帯です。今年度は大学の同窓会からの援助も頂き、より活発な活動を実施致したいと考えておりますが、会員の増加を図る前に、会員各位の積極的な会費の納入に御協力を頂きたくお願い致します。

#### 賛助会員加入へのお願い

賛助会員の会費は一口 1 万円です。会員の企業、団体または個人で当会の趣旨に御賛同頂けるようでしたら、賛助会員としての加入に御協力をお願い致します。

#### 会報投稿へのお願い

次期会報の発行に合わせて会員各位からの投稿をお待ちいたします。特に会報の充実や技術の最前線の知見など情報提供可能であれば是非投稿をして頂きたく、御協力をお願い致します。

#### 千葉工業大学技術士会 個人情報保護ポリシー

千葉工業大学技術士会（以下、本会という）は業務上使用する会員原簿などの個人情報は「個人情報の保護に関する法律」に基づき厳正に管理維持します。

個人情報の利用目的は本会の活動に限定するとともに、管理に当たっては漏洩等の防止のための安全管理措置ならびに本人からの求めによる個人情報の開示・訂正・利用停止を行うものとします。

個人情報を本会の活動以外の利用目的で使用する場合は、本人の承諾を得たうえで会長の承認を受ける事にします。

本会の役員、会員は個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護のための取り組みを継続的に実施し、改善を図ります。



JR総武線跨線歩道橋より望む



JR津田沼駅東口側からの眺望





(正門及び通用門  
撮影 平成 24 年 3 月)



千葉工業大学技術士会 会報 第 7 号 平成 24 年 3 月 10 日発行

千葉工業大学技術士会

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2 丁目 17 番 1 号

千葉工業大学 産官学融合課内

TEL 047-478-0249

FAX 047-478-0579

ホームページアドレス

<http://cit-gijyutsushi.jp>